情報解禁は4月28日 正午～でお願いいたします。

Live Extremeプレスリリース

2023年4月28日

業界史上最高音質のインターネット動画配信システム「Live Extreme」高音質・高画質動画配信サービスに必要なすべてをトータルでサポートするフルマネージドサービス「Live Extreme Showcase」を提供開始

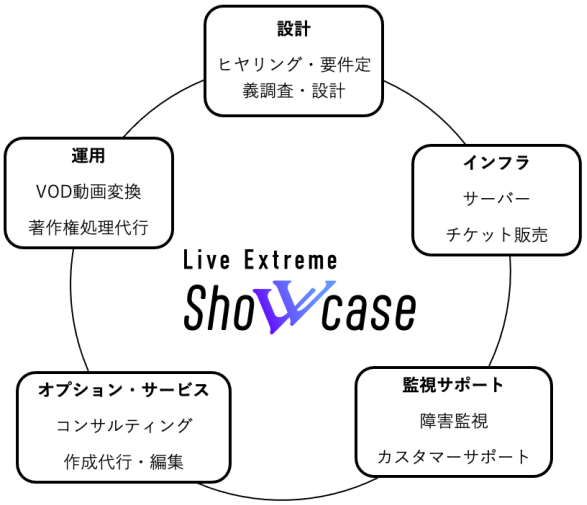
株式会社コルグ（本社: 東京都稲城市、代表取締役社長: 加藤世紀、以下コルグ）は、高音質・高画質動画配信サービスに必要なすべてをトータルでサポートするフルマネージドサービス「Live Extreme Showcase」を提供開始したことをお知らせします。

Live Extreme Showcase

コルグが2020年9月に発表したインターネット動画配信システム「Live Extreme」は、オーディオ・クロックを配信システムの軸とした「オーディオ・ファースト思想」や、ロスレス／ハイレゾ・オーディオに対応した高い音質が好評を博し、発表以来90公演以上ものコンサートやイベントのリアルタイム配信に採用されてきました。

インターネット動画配信による公演が一般化する中で、コンテンツ・ホルダー様においては、従来DVDやBlu-rayといったフィジカルメディアでしか配給することが出来なかった「ロスレス・ハイレゾ音声を含んだコンテンツ」「5.1chサラウンドで制作されたコンテンツ」を多くの視聴者にインターネットを通じ手軽に配信したいというニーズが高まっています。

コルグは、そのようなニーズに対し、パートナー企業が提供する配信プラットフォーム、CDN（Content Delivery Network）の機能と、「Live Extreme」のロスレス・ハイレゾ音声配信技術を組み合わせ、配信サーバー、ストリーミング・プレイヤーなどのインフラ準備から、VOD動画変換、著作権処理代行といった運用まで網羅するフルマネージドサービスを提供いたします。



【サービスご提供のイメージ】

コンテンツ・ホルダー様は配信したいコンテンツを用意するだけで、コルグが動画ストリーミング環境の構築からサービス運用までをトータルでサポートいたします。



【サービスの特徴】

高音質・高画質動画配信サービスの様々な管理・運用をご支援し、システム管理者様の負担を軽減します。
4Kやハイレゾ、マルチチャンネル音声コンテンツの作成サポートから、プレイヤー設置、サーバー管理、JASRACなどの著作権処理代行までプラットフォーム運営をトータルでサポート。コンテンツ制作などのお客様のコア業務へのシフトを支援します。

世界最高音質の配信プラットフォームを最短で構築（ご提供機能一覧）

・ハイレゾ音声（リニアPCM, DSD）
・空間オーディオ (最大7.1.4ch)
・副音声同時配信
・音声のみの配信
・4K映像
・ウェブ・ブラウザ再生
・スマホ・STB対応
・低速回線での再生対応 (ABR)
・コンテンツ保護

柔軟な販売機能・拡張性（ご提供機能一覧）

・外部プレイガイド連携
・IPアドレスによる視聴制限
・製品封入用シリアルコード発行
・レンタル・サービス
・サブスクリプション・サービス
・クローズドな会員制サービス
・リアルチケット送付サービス

【ご利用可能な想定サービス】

・過去のコンサート映像のアーカイブ配信サービス
・ファンクラブ限定コンテンツの配信サービス
・パッケージ・メディア購入者への特典映像配信サービス
・オーディオ製品のプロモーション（音質比較）サイト構築
・音楽教育セミナーの配信サービス

東京藝術大学が、本サービスを活用して「藝大ミュージックアーカイブ」のコンサート配信を順次高音質化。**Auro-3D**配信も開始。

本サービスを活用した初めての事例として、東京藝術大学が「藝大ミュージックアーカイブ」(http://arcmusic.geidai.ac.jp/) のコンサート配信から選りすぐりの公演を高音質化し、「東京藝大デジタルツイン」(https://dt.geidai.ac.jp) のサイトにて公開していくことが決定いたしました。「東京藝大デジタルツイン」は、同大学が生み出すさまざまなコンテンツの発表や配信を行う芸術の新しい場所として、2021年2月にオープンしました。

「Live Extreme Showcase」を使用したコンテンツ第一弾として、2022年7月3日に奏楽堂で行われた「藝大第九～チャリティコンサート vol.6～」より「ベートーヴェン: 交響曲 第9番 ニ短調 作品125『合唱付き』より 第4楽章」を4K映像と立体音響（ハイレゾ96kHz/24bit Auro-3D* 9.1ch 音声）にてお届けいたします。
https://dt.geidai.ac.jp/?p=1897

尚、本コンテンツは、Live Extremeで立体音響（イマーシブ・オーディオ）を配信する初めての事例となります。

*Auro Technologies社が開発したチャンネル・ベースの立体音響技術。通常のサラウンドPCM信号（5.1ch, 7.1ch）の中にハイト・スピーカー用の音声も埋め込んでいるため、Auro-3D対応のAVアンプと接続すれば立体音響で、Auro-3D非対応の場合でもサラウンド音声で再生される。96kHzのハイレゾ・オーディオにも対応している。

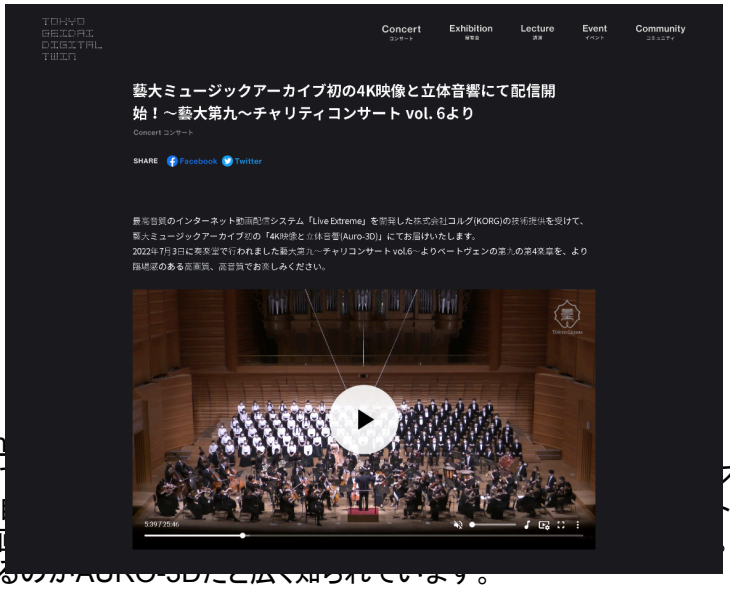
ウェブブラウザによるAuro-3D再生方法は
https://www.live-extreme.net/howto-surround
をご参照ください。

【公演情報】

演奏会名：藝大第九 ～チャリティコンサート vol. 6～
日時：2022年7月3日(日)15:00開演
会場：東京藝術大学奏楽堂
主催：東京藝術大学音楽学部 同声会
共催：東京藝術大学音楽学部、東京藝術大学演奏藝術センター
協力：LEXUS TOKYO

L.v.ベートーヴェン: 交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」より 第4楽章
指揮：迫 昭嘉
ソプラノ：河向 来実
アルト：赤間 夏海
テノール：村山 惇朗
バス：原田 光
管弦楽：藝大第九オーケストラ
合唱：藝大第九合唱団
合唱指揮：辻 秀幸

配信フォーマット
・4K映像 + ロスレス音声 (48kHz/24bit, stereo)
・4K映像 + ハイレゾ音声 (96kHz/24bit, Auro-3D 9.1ch)



Auro-3D について h
AURO-3Dは、現在の市場
スニング環境において「そこにいる」という感覚を最も
トがスタジオで聴いた音そのものを再現し、音楽や映
、つまり、制作者の「創造的意図」を最も忠実に再現するのがAURO-3Dだと広く知られています。

私たちが普段の生活で味わうことができる感動を、スピーカーでもヘッドホンでも、簡単にしかも高解像度に体験することができます。AURO-3Dは、10年以上にわたって、誰もが、どこでも、最高の没入感を味わえるオーディオ体験を提供してきました。

『もっと聴きたい、もっと感じたい！』をもたらすAURO-3Dによる真のイマーシブサウンドフォーマットについてもっと知りたい方は、こちらをご覧ください。



Live Extreme について https://live-extreme.net

株式会社コルグが開発した業界史上最高音質によるインターネット動画配信システム。最大4Kの高解像度映像とともに、高音質なロスレス・オーディオをはじめ、更に高品位なハイレゾ・オーディオ（最大 PCM 384kHz/24bit および DSD 5.6MHz）をライブ配信できる世界初*の画期的なシステムです。

*サンプリング周波数96kHzを超えるハイレゾ・オーディオに対応した動画配信システムとして（コルグ調べ）

【Live Extreme関するお問合せ先】
株式会社コルグ 技術開発部 Live Extreme担当
EMAIL: live-extreme@korg.co.jp
Live Extreme公式サイト : https://live-extreme.net
Live Extreme公式Twitter : @KorgLiveExtreme